

市民活動センターフェスティバルに参加しました！



3月2日(日)廿日市市民活動センターフェスティバルに参加し、1階のはつかいち外国人相談センターでは、世界おもしろクイズや飲食品・輸入品の販売を楽しく開催しました！ マッサマンカレー、ベトナムフォー、ベトナムコーヒー、レモングラスティー、どれも香り豊かに食欲を誘い、購入された方から「美味しいです！」の声をたくさんいただきました。クイズコーナーは朝から絶え間なく子どもたちが訪れ、延べ子ども62人、大人28人が世界各国の3択クイズに挑戦してくれました。全問正解者は1組というかなりの難問でした(^^)



2階のステージでは、ベトナム人実習生の歌とフィリピンのバンブーダンスが披露されました。綺麗な歌声にうっとり～(^^)



(記事協力：廿日市市国際交流協会・はつかいち外国人相談センター)

市民活動センターフェスティバルにて、ステージ発表 テーマ「ハウツーニッポンぐらし」

(一社)ええじんの20年間に及ぶ在住外国人支援の活動と新たに始めたSNS放送についてステージ発表をしました。隣のブースで展示とSNS動画の視聴と解説をしました。



ええじんは、2月4日にも、同会場で出入国在留管理庁の「共生社会推進賞」を受賞しており、その賞詞には「SNSでの情報発信の取り組みの着想及び実践を高く評価」されていたことが書かれています！ 今後益々必要となる共生社会推進のため、在住外国人個々のスマホに向けて、必要な地域情報等を動画に多言語字幕付きで発信し、センター内の各団体等とも連携したいと思っています！

妊婦～出産	学校	職場	結婚・離婚
家庭・地域	保険・医療	年金・介護・福祉	交通事故・急病
災害	住居	在留資格	その他

ええじんは、これから外国人の方も住みやすい町づくりに協力していきます！ QRコードを読み込んでください！

(記事協力：一般社団法人ええじん)

第2回 廿日市市民活動センターフェスティバルポスターコンクール最優秀賞 授与式



市民活動センターフェスティバルでは、ポスターコンクールを開催していました。今年の最優秀作品(左)は、廿日市市国際交流協会と外国人相談センターの合作で生まれました。オープニングの前に、受賞セレモニーが行われ、代表者が笑みを込めて「ありがとうございます！」と。来年も素晴らしい作品を期待します！

第2回 廿日市市民活動センターフェスティバルeスポーツ体験会が開催されました！



市民活動センターフェスティバルのイベント会場では、eスポーツ体験会が開催されました。子どもたちでも楽しく遊べるゲームを用意し、話題のVR体験も用意されました。eスポーツという新しいジャンルに触れる時代、子どもたちの成長の新たなきっかけや、子ども自身が持つ新たな可能性を見つけられるような、とても良いイベントになりました。(ICTまちづくりボランティア同好会)

市民活動情報誌

さくらdeファミリー

3月 発行

廿日市市民活動センター 令和7年 春号

市民活動センターフェスティバルが開催されました！

1年間の集大成！ これまで、とこれから、を伝える活動報告！ 廿日市市民活動センターフェスティバルに、阿巖太鼓の壮大な音が響き渡りました！



つどう・まじわる・しりあう
第2回
廿日市市民活動センターフェスティバル
- 地域につながる 活動をみんなで! -

子ども達のかわいいダンス！ 演奏に大合唱！ アツと驚き・成る程！と思わず頷く展示の数々！ 今年のメインテーマは、〈地域につながる 活動をみんなで！〉 センターフェスティバルを通じて、市民活動を知る場所となりました！

第4回 今年度最後の〈みんなの健康教室〉が開催されました

今年度の健康教室は、3月13日（木）が最終回でした。今回のセミナーの講師と演題は、①地域包括支援センター東部介護支援専門員 福傳隆史様「介護が必要になったときに！ ～介護保険について～」、



②廿日市市五師士会リハビリ士会理学療法士 黒瀬雅彦様「筋力低下や足腰の痛みに対する日常生活での工夫」でした。

①では、認知症のメカニズムをクイズ形式で出題されたり、介護に関する設備を写真で説明されたりしていただきました。今と昔の介護施設の違いは、入所者が時間をただつぶすところではなく、自立して生活し、リハビリをすることで、家族の負担を低くするのだそうです。



②では、ながら運動と題して、日ごろの運動の大切さと、運動することの習慣づけが大切だ、と教えてくださいました。小さな事からこつこつと進めていくことで、体の機能を高める・取り戻す仕組みを教えてくださいました。

今年度の教室は、これにて終了です。下記の表が令和7年度の日程表です。

ストップ！ フレイル 健康な生活を続けよう！				
回数	時期	題目	内容	講師
1	6月26日(木) 13時30分～ 15時00分	アイフレイルについて	加齢による目の機能低下について(症状と予防策) それは花粉症？ ドライアイ？	令和アイクリニック 院長 桂 真理 先生
2	9月17日(水) または18日(木) 14時～15時30分	オーラルフレイルについて	口腔ケアの必要性(口から始まる体の健康維持)・食べることの重要性	未定
3	12月第1または 第2(金) 10時～	誰でも作れる！ 簡単に栄養たっぷりフレイル対策の食事！	あいプラザの調理室を借用してバランスの良い栄養食メニューを学びながら楽しく調理。 (※参加費＝実費：食材費)	山陽女子大 食物栄養学科 吉村真奈美先生
4	2月または3月 第2(水)または(木) 14時～15時30分	耳のフレイルについて	加齢で悩む耳鳴り！ 難聴！ 認知力向上！ 正しい補聴器のすすめ！	未定
参加者(定員)費用	毎回20名～30名、調理実費以外は無料 経費負担は廿日市市市民活動センターで行う。			
共催	NPO法人廿日市市五師士会・廿日市市公衆衛生推進協議会 廿日市市市民活動センター			

第5回 〈災害から身を守るための防災教室〉が開催されました！

今年度の防災教室は1月25日（土）が最終回でした。広島県災害復興支援士業連絡会は15の士業で構成されているので1回に3士業を5回で構成しました。



今回セミナーの講師と演題は①（一社）日本海事代理士会 直原陽様「災害時における海運業界の取組み及び海事代理士の役割」②広島県土地家屋調査士会 水津秀巳様「災害後の土地家屋調査士の役割と活動」③法テラス広島事務所 工藤舞子様「法テラスによる被災者支援」でした。



①では海運業界が災害時に船舶を利用した支援活動をどの様に展開し、海事代理士がどの様な役割を果たしているかを説明されました。②では災害後に起きやすい境界トラブルの相談。そして解決サポートの現状を紹介されました。③法テラスとは日本司法支援センターのことです。法的なサービスを全国どこでも利用できるようにするため国が設立した法人で、無料法律相談や費用の立替えサービスを行っている法律に関するトラブルの総合案内所です。被災地には法テラス号を走らせて、弁護士や司法書士が出向きます。

今年度は主に講師が経験した災害後のトラブル解決に関する講座でしたが、来年度は机を離れて実際に経験する防災の実習を組み込むようにしたいと思いますので、ご期待ください。



廿日市市市民活動センターフェスティバル 〈災害から身を守るための防災教室〉は、炊き出し非常食を販売・提供しました！

災害から身を守るための防災教室では、パック・クッキングと題して、炊き出し非常食の販売を行いました。売上金は、全額能登半島地震の被災者支援へ募金しました。総額は1万2千2百円でした。

能登半島の日も早い復興を切望します。